

## マーケットの動き（2022年9月12日～9月16日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で上昇（円安）しました。8月の米国CPI（消費者物価指数）が市場予想を上回る上昇率となったことを受け、米ドル円相場は144円台後半まで上昇しました。その後、日銀がレートチェックを実施したとの報道を受けて円はやや買い戻される展開となり、上昇幅を縮めて週を終えました。ユーロは前週末比、対円で上昇した一方、対米ドルでは下落しました。

## 投資環境見通し（2022年9月）

## 円に対して、米ドルは強含み、ユーロは横ばい

**米ドル：**日銀とFRB（米国連邦準備制度理事会）との金融政策の違いに加え、米国景気の相対的な底堅さ、エネルギー価格が上昇する中で米国の燃料輸出国の優位性が注目されるとみられます。ドルは円に対して小幅ながら強含むとみています。

**ユーロ：**日銀とECB（欧州中央銀行）との金融政策の違いがユーロの上昇要因となる一方、欧州景気の先行きに対する懸念が重しになるとみられます。ユーロは円に対して横ばいで推移するとみています。

	9月16日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	142.94	0.49	8.56	24.45	33.29
ユーロ/円	143.38	0.32	6.58	13.11	14.39

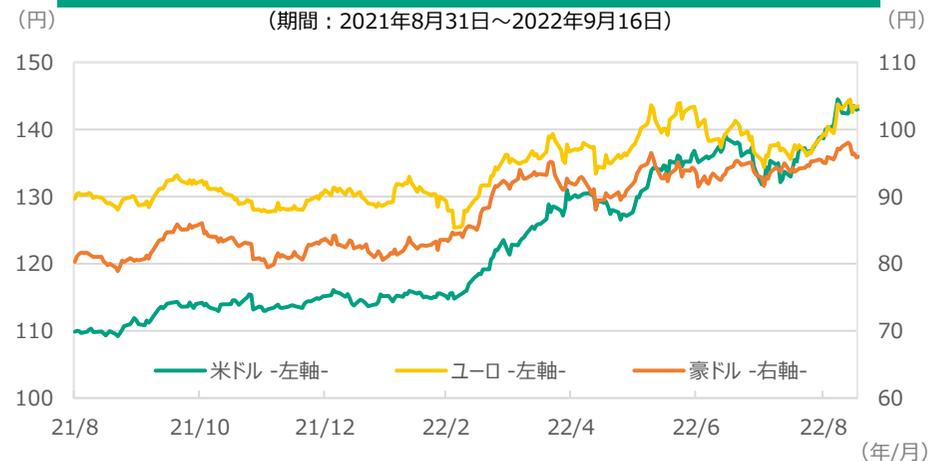
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202209\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202209_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 為替レートの推移（対日本円）



## 為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成